

平成 30 (2018) 事業年度 事業報告

本財団は、機械の生産において工作機械を中心とした高度生産システムに係わる研究開発、利用等に関する援助及び助成を行うとともに、国際的技術交流を通じて、機械の生産技術の高度化を図り、わが国及び世界の機械産業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。

1. 年間活動報告 (2018年4月1日から2019年3月31日)

本事業年度の各事業は、平成 30 (2018) 年 3 月に開催の理事会において承認された平成 30 (2018) 事業年度事業計画に基づき、ほぼ予定通り実施しました。

平成 30(2018)年

- 4月24日 ・会計監査終了
- 5月22日 ・平成 29(2017)事業年度「マザック高度生産システム研究助成者発表並びにマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式」をヤマザキマザックマニュファクチャリング(株)いなべ製作所にて開催。
その後、交流会 及び いなべ製作所をご案内
- 23日 ・平成 28(2016)事業年度 研究成果報告書冊子配布
- 31日 ・平成 29(2017)事業年度 研究助成金払込み完了
- 31日 ・第 19 回理事会 (書面) 開催
- 6月 19日 ・第 13 回定時評議員会, 第 20 回通常理事会を六本木ヒルズクラブにて合同開催
- 28日 ・内閣府へ定期提出書類 (事業報告) 提出
- 9月 1日 ・平成 30(2018)事業年度 研究助成, 論文表彰募集開始
- 10月26日 ・第 21 回通常理事会を六本木ヒルズクラブにて開催
- 11月30日 ・研究助成申請 54 件
論文表彰申請 21 件
国際会議助成申請 3 件 で締切

平成 31(2019)年

- 2月22日 ・審査委員会開催
研究助成 19 件
論文表彰 18 件
国際会議助成 3 件 選定
- 3月15日 ・第 22 回理事会 (書面) 開催
- 26日 ・第 14 回評議員会 (書面) 開催
- 27日 ・内閣府へ定期提出書類 (事業計画・収支予算) 提出

2. 前年度（平成 29(2017)事業年度）研究助成の成果報告

前年度研究助成対象先 20 件のうちの下記 20 件について研究成果の報告を受け、小冊子にまとめました。

東京工業大学	吉岡 勇人	超磁歪素子を用いたフライス加工用工具サーボによる微細加工
京都工芸繊維大学	太田 稔	旋回式工具主軸を用いた Turn Grinding による高機能表面の創成
神奈川大学	由井 明紀	工作機械安全カバーの衝突安全性に関する研究 －ポリカーボネート製窓の安全評価－
京都大学	松原 厚	柔軟構造物の切削加工のための工作物支持機構の開発
大阪大学	有馬 健太	次世代半導体表面に対する超精密研磨特性の原子単位診断システムの開発
広島大学	茨木 創一	ロボットによる切削加工を目的とした空間誤差の測定・補正法
中部大学	鈴木 浩文	単結晶ダイヤモンド製スクライビングホイールによる単結晶 SiC の精密スクライビング・割断の基礎研究 －PCD ダイヤモンドホイールの先端形状によるスクライビング特性への影響－
東京農工大学	夏 恒	高速電解加工による複雑形状微細穴加工法の開発
金沢大学	古本 達明	レーザ照射部の温度監視による金属 AM 条件の最適化 －プレート温度によるスパッタ発生挙動の変化－
工学院大学	武沢 英樹	Forming of Groove for Pipe Electrode and characteristic of Small-hole EDM
京都大学	河野 大輔	Three-dimensional deformation measurement of real contact area using laser micro scope －Three-dimensional deformation of real contact area－
オレゴン州立大学	Sencer Burak	Optimal control of flexible drives with load side feedback
慶應義塾大学	柿沼 康弘	センサレス切削力推定技術とバーチャルプロセス技術を融合した革新的プロセス監視技術の開発
金沢大学	高杉 敬吾	Proposal of Contact-less Dynamic Spindle Testing by Eddy Current Brake

富山高等専門学校	西田 均	電場・磁場同時印加による高能率ホーニング加工法の開発
名城大学	成田 浩久	樹脂のエンドミル加工における表面創生理論の確立
大分工業 高等専門学校	山本 通	切削による潜像加工の実現に向けた取り組み
名古屋大学	村島 基之	カーボンファイバーブラシを用いた3Dプリンタ表面の特定表面粗さ除去研磨技術の開発
東海大学	神崎 昌郎	低摩擦コーテッド工具の創製と切削油中微小気泡との反応を利用した低抵抗加工技術の開発
富山県立大学	竹井 敏	Fabrication of moth-eye gold nanostructures by nanoimprint lithography using solvent-permeable porous cross-link molds derived from hydroxypropyl-cyclodextrin

3. 平成 30(2018)事業年度助成金公募および助成金交付先

定款第4条(1)に従い、高度生産システムに係わる、工作機械の機械要素技術や制御技術、工作機械による加工技術、被削材や工具などの材料技術、ロボットや搬送装置など周辺装置とその制御に係わる技術、また生産システムを構築、運用するための生産技術や情報通信技術に取り組んでいる国内・海外の個人及び大学、各種研究機関に対して援助・助成を実施しています。

本事業年度は、研究助成応募 54 件、国際会議助成応募 3 件であり、いずれも 2019 年 2 月 22 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 15 日の理事会にて承認を得て、研究助成 19 件、国際会議助成 3 件を決定しました。

※助成実績にて研究助成先・国際会議助成先リスト掲載しております。

4. 平成 30(2018)事業年度論文公募と優秀論文表彰

定款第4条(2)に従い、若手研究者を対象とした論文募集を行い、優秀論文を顕彰しています。

本事業年度は、応募件数は 21 件で、2019 年 2 月 22 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 14 日の理事会にて承認を得て、優秀論文特別賞が 1 件と、17 件の優秀論文賞を選定しました。

※助成実績にて優秀論文の表彰リスト掲載しております。